

障害児支援利用計画書

利用者氏名(児童氏名)	長野 あさま	障害支援区分		相談支援事業者名	相談支援センターほっとらいふ(障害児相談支援事業所)
保護者氏名	長野 一郎	本人との続柄	父		
障害福祉サービス受給者証番号		利用者負担上限額	4,600円	計画作成担当者	飯島 みすず
地域相談支援受給者証番号		通所受給者証番号	12345678		

計画作成日	平成29年9月1日(サービス利用開始 H29.10.1~)	モニタリング期間(開始年月)	3か月(平成29年12月)	利用者同意署名欄	
-------	-------------------------------	----------------	---------------	----------	--

利用者及びその家族の生活に対する意向(希望する生活)	僕は1年生になって、楽しく学校に通っています。虫や恐竜、戦隊物が好きだけど、お友達の中にいる事も好きです。自分の思いを上手に伝えたりすぐに行動に移せない時もあるけれど、そんな時は助けて欲しいです。 *入学前後には激しく泣くなど混乱する姿もありましたが、学校生活の流れも分かり、支援級を軸に原級でも落ち着いて過ごせるようになりました。就学したことにより、A医療センターのST/OT訓練が終了となり、家族は発達支援を継続できる場所を探していました。今後放課後等ディサービスの支援を受けることで、家で過ごす際も興味(虫探し、DVD鑑賞等)に没頭するばかりでなく、見通しを持った過ごし方が出来るようになっていきたいと思います。
総合的な援助の方針	環境が大きく変わる小学校入学は、ご本人にとってもご家族にとっても大変不安であったと思いますが、良いスタートが切れています。今後はあさまさん自らが友だち集団の中で自信をもってお友だちとのやり取りを楽しみ、社会的ルールを学び見通しを持って集団の中で過ごせるようになれば良いと思います。良い経験の積み重ねからの学びを家庭での生活にも反映できるよう、ご家族と共有していきましょう。
長期目標	あまり周囲の人や状況に興味を持ってない様子がありましたが、少し上のお兄さんやお姉さんとの関わりを求める姿が出てきています。家庭以外の場所で交友関係を広げ、様々な体験を積みながら、社会的ルールを学び、自信をもって活動に参加できるようにしていきます。
短期目標	スタッフや同年代の仲間に慣れて、安心して放課後等ディサービス事業所に通いましょう。

優先順位	解決すべき課題(本人のニーズ)	支援目標	達成時期	福祉サービス等		課題解決のための本人の役割	評価時期	その他留意事項
				種類・内容・量(頻度・時間)	提供事業者名(担当者名・電話)			
1	自分の想いをわかってほしい。	ゆっくり、あせらず、自分の思いや要求を言葉やサインで伝えよう	2018年(平成30年)3月	○放課後等ディサービス ○小学校と保護者との情報共有(原則月に1回の支援会議を行う)	・小学校(原級担任・支援級担任) ・放課後等ディサービス事業所	「お願い」「いやだ」など場面に応じた発信を学びましょう。家での過ごし方について、お家の方と相談して決めましょう。	2017年(平成29年)12月	自分の情動や対応を的確に他者に伝えることを意識的に取り組んでみて下さい。「その時の心の動きや行動がどうであったか?」「好ましくない行動の時には、どのように対応すればよかったのか?」などの確認をしましょう。
2	子ども集団の中で、さまざまな体験を積み、友だちと仲良く遊びたい。	○新しい場所での活動を通じて仲間やスタッフに慣れよう。 ○ルールや予定を分かりやすく伝え、理解して動こう	2018年(平成30年)3月	放課後等ディサービス(月・木 下校後~17:30)	・放課後等ディサービス事業所 児童発達支援管理責任者(☎ 〇〇-〇〇〇〇)	事前予告や必要な約束事を教えてもらえると落ち着いて参加できます。積極的に活動に参加しましょう。	2017年(平成29年)12月	放課後等ディサービスの利用開始となりますが、利用日はカレンダーに印をつけるなどして、予定が分かるようにしましょう。初めての場所や活動には抵抗感がありますので、配慮して下さい。
2	体を使ったダイナミックな運動の体験をしたい。	○体を動かすことの楽しさを知ろう。(虫を探し続ける、DVDを見続けるなど、積極的に体を動かす機会が少ない) ○好きな活動を通して体力・筋力をつけよう。	2018年(平成30年)3月			○たくさん体を動かそう。 ○スタッフと共に新しい活動にもチャレンジしてみよう。	2017年(平成29年)12月	○自分の好きな事がわかる活動の経験をしていきましょう。現在は「公園に行きたい」という訴えはできますが、「公園で〇〇をしよう」など、目的を明確にできるよう働きかけてみて下さい。
3	家でもやり取りをスムーズに過ごしたい(母)	本児の特性を理解し、家族が本児との適切な関わり方を学びましょう。	2018年(平成30年)3月	小学校担任 障害児相談支援(適宜)	小学校担任 相談支援センター ほっとらいふ	○心配な時や不安なことがあるときは連絡しましょう(母) ○おじいちゃんおばあちゃんとも同じように過ごせるようにしましょう。	2017年(平成29年)12月	必要に応じて支援会議などで、各機関からの情報共有や連携と支援内容の共有を行います。